

取組事例

(川内川大規模氾濫減災協議会)

令和2年6月10日

川内川河川事務所

危機管理型水位計の設置

■危機管理型水位計とは

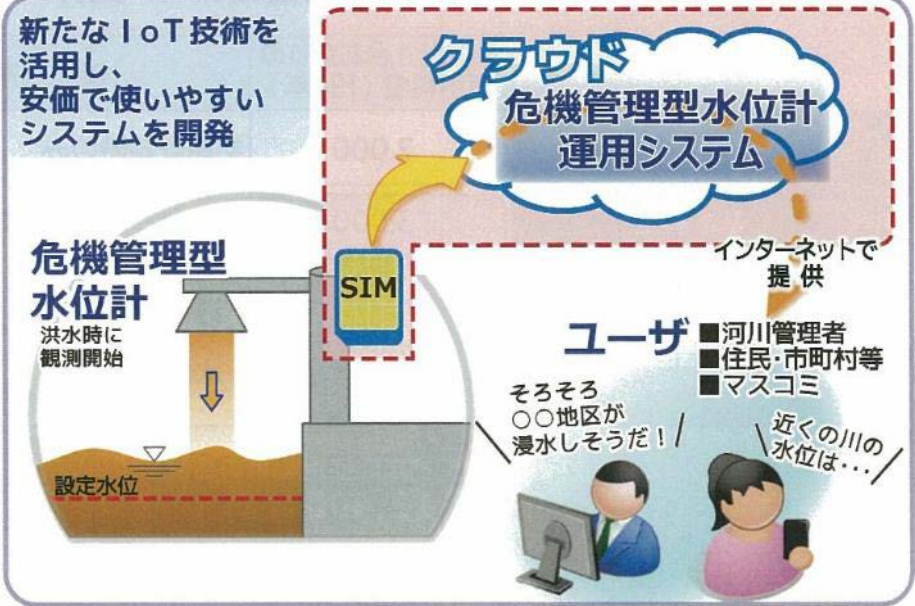
革新的河川技術(管理)プロジェクトにより開発した、洪水時の観測に特化した水位計です。洪水時の観測に特化すること、携帯通信網を利用すること、汎用部品を活用することにより、大幅にコストダウン・サイズダウンを図ったものです。5年間無給電(電池等で稼働)、メンテナンスフリーが標準仕様となっています。



現場実証実験第一弾(鶴見川水系 鳥山川)



現場実証実験第二弾※寒冷地仕様(最上川水系)



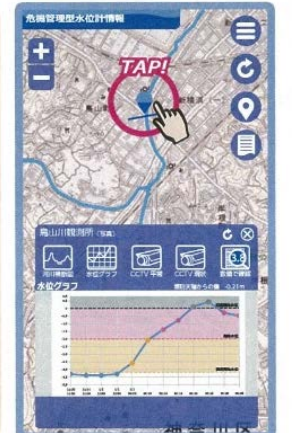
川の水位情報で検索

※令和元年6月1日からアクセスできます
(<https://k.river.go.jp>)



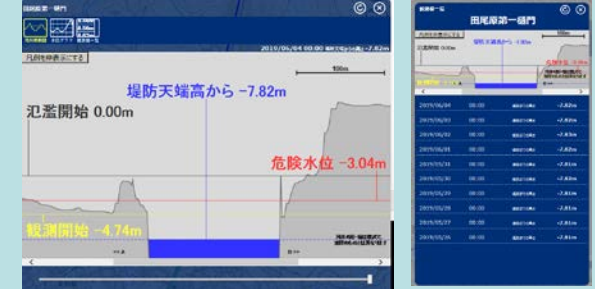
スマートフォンでも確認できます

●提供画面イメージ



※開発時の画面イメージであり変更される可能性があります

堤防高さからの水位表示も確認できます(場所によっては未表示箇所もあり)

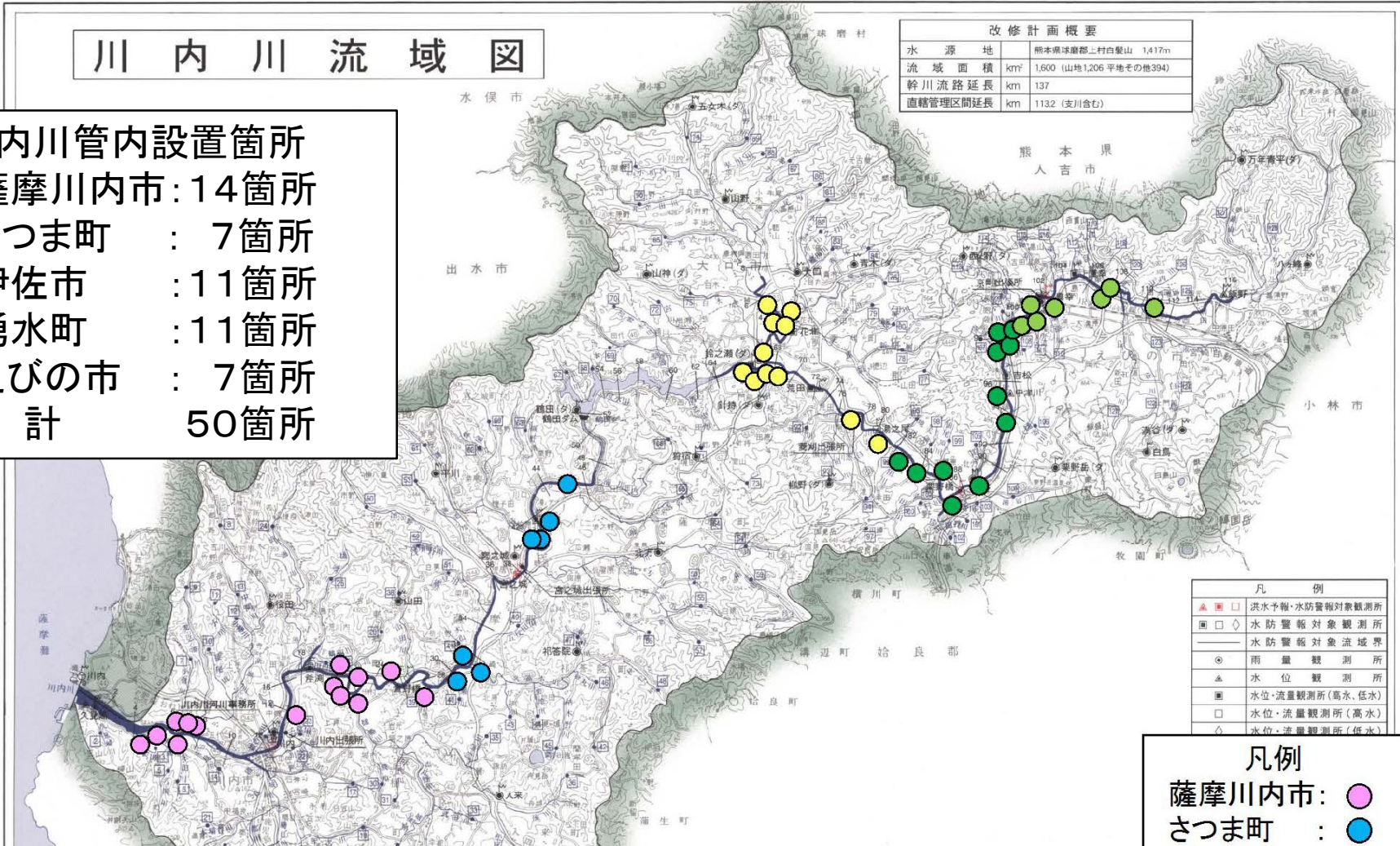


危機管理型水位計の設置

川内川流域図

川内川管内設置箇所
 薩摩川内市：14箇所
 さつま町：7箇所
 伊佐市：11箇所
 湧水町：11箇所
 えびの市：7箇所
 計 50箇所

水源地	熊本県球磨郡上村白髪山 1,417m
流域面積	km ² 1,600 (山地1,206 平地その他394)
幹川流路延長	km 137
直轄管理区間延長	km 1132 (支川含む)



▲ ■ □	洪水予報・水防警報対象観測所
■ □ ◇	水防警報対象観測所
—	水防警報対象流域界
⊙	雨量観測所
△	水位観測所
■	水位・流量観測所(高水、低水)
□	水位・流量観測所(高水)
△	水位・流量観測所(低水)

●	薩摩川内市
●	さつま町
●	伊佐市
●	湧水町
●	えびの市

【危機管理型水位計】

洪水時の水位観測に特化した低コストの水位計。これまで水位計が無かった地先レベルの水位を把握することが可能となる。

平成十五年五月現在 国土交通省川内河川事務所

簡易型河川監視カメラの設置

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和2年2月26日
水管理・国土保全局河川計画課

簡易型河川監視カメラ画像のウェブ提供を開始しました ～ 河川監視カメラが1.6倍に増えます ～

身近な河川の状況をリアリティをもって伝え、地域の方の避難に活用いただくため、今年度から「簡易型河川監視カメラ」の設置を進めています。この度、平成30年7月豪雨において、大規模な浸水被害が発生した高梁川水系高梁川や小田川などをはじめ、全国に設置した簡易型河川カメラ画像のウェブサイトでの提供を開始しました。

- 平成29年7月の九州北部豪雨や平成30年7月豪雨においては、洪水時に河川の状況をリアルタイムに把握する手段がなく、住民の避難行動を強く促す河川画像などの情報を発信することが課題でした。
- そのため、多数の地点に設置ができる簡易型のカメラを「革新型河川技術プロジェクト」において開発しました。（詳細は別紙参照）
- 今年度から現地へのカメラ設置を開始し、令和2年2月26日時点で224箇所の画像の提供を始めました。
- 今後、カメラの設置を進め、令和2年出水期までに国管理河川約1,600箇所の画像の提供を開始する予定です。既に画像を提供している従来型のCCTVカメラ（約2,800箇所）と合わせて、全国でこれまでの1.6倍（約4,400箇所）の河川状況を確認できるようになります。
- カメラの画像は、以下のウェブサイトで閲覧可能です。

「川の水位情報」
<https://k.river.go.jp>



配信イメージ

【問合せ先】
国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室
企画専門官 大坪（内線：35392）、流域情報分析企画係長 向山（内線：35394）
代表：03-5253-8111、直通：03-5253-8446、FAX：03-5253-1602

簡易型河川監視カメラの概要

- 電源・通信ケーブルの確保不要で容易に設置が可能なカメラ。月明かり程度の明るさで静止画撮影が可能。
- ズームや首振り機能を限定することでコストを縮減。
- リアリティのある河川の状況を画像で伝えることで、住民の適切な避難判断を促す。

【特徴】

- 屋外に容易に設置**
 - 無線式の場合は電源・通信ケーブルの確保不要（無線通信、太陽電池等を利用）
- 機能を限定しコストを低減**
 - ズームや首振り機能は削除
 - 機器本体価格は、30万円/台程度
- インターネットを経由して画像を収集**
 - 水位計のデータ等と併せて提供

【設置状況】



（全景）



（カメラ部）

【配信イメージ】



（昼間）



（夜間）

「川の水位情報」
<https://k.river.go.jp>



簡易型河川監視カメラの設置

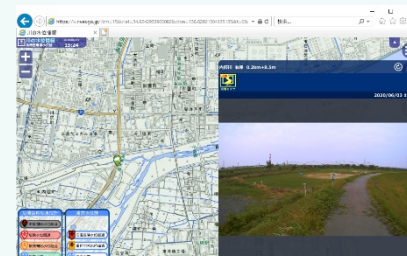
■ 目的

○既設のCCTVカメラでは、確認できない危険箇所の把握や水位計周辺の河川状況を監視し、避難勧告等の通知や住民の避難に役立つ情報の提供を行うことを目的とする。

(川の水位情報 <https://k.river.go.jp> にて公開予定)

■ 設置条件

○各氾濫ブロック毎の氾濫危険箇所のうち、既設CCTVカメラで監視できない箇所に設置。



川の水位情報 <https://k.river.go.jp>

■ 仕様

低コストでの監視装置を実現

- ・ソーラーパネル・バッテリーによる電源供給
- ・無線機によるデータ送信



ソーラーパネル

バッテリー



簡易型河川監視カメラ

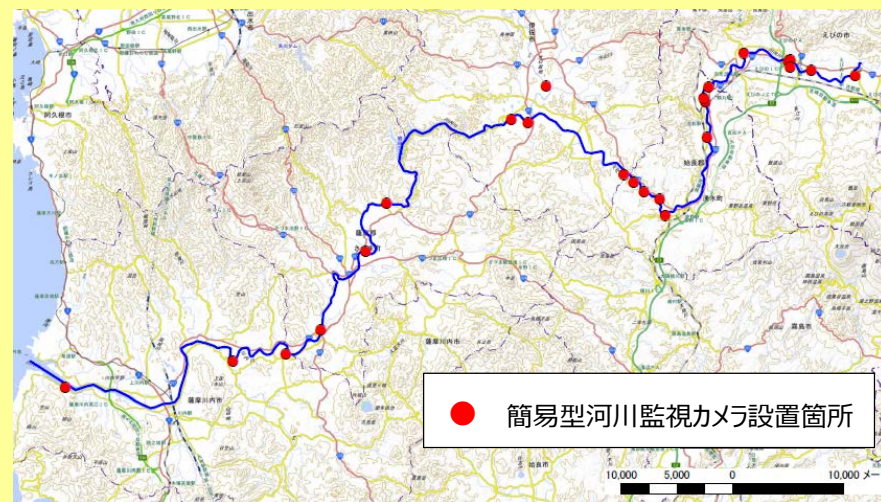
■ 設置状況

設置対象箇所 : 全24箇所

設置完了箇所 : 21箇所

設置予定箇所 : 3箇所

■ 位置図



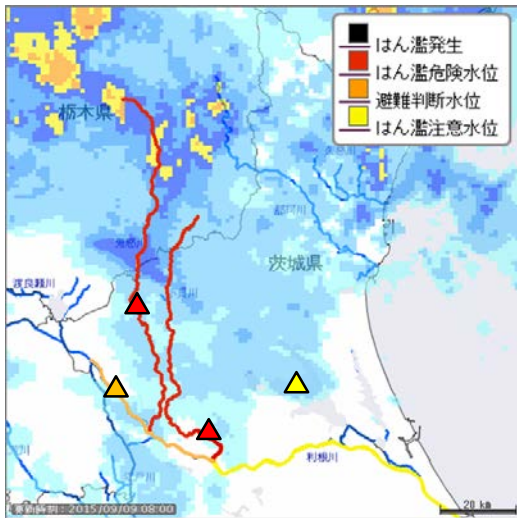
● 簡易型河川監視カメラ設置箇所

水害リスクラインによる水位情報の提供

概ね200mごとに計算した水位と、堤防の高さとの比較した危険度を表示する「水害リスクライン」により、災害の切迫感をわかりやすく伝える取組を推進

現行の洪水予報・危険度の表示

水位観測所の水位で代表して、一連区間の危険度を表示



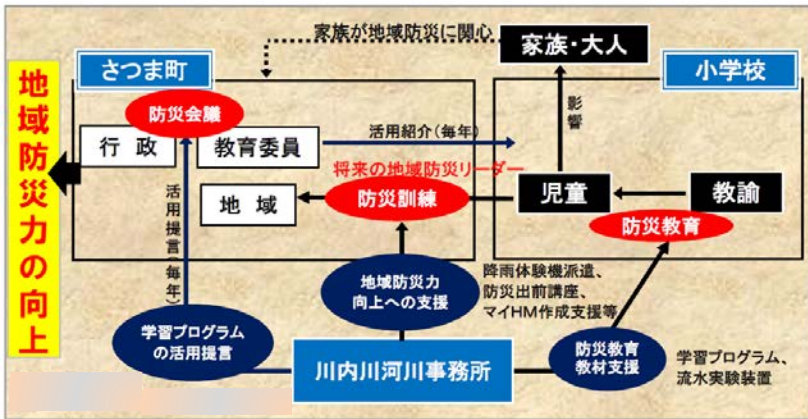
水害リスクラインを活用した洪水予報・危険度の表示

左右岸別、上下流連続的に地先ごとの危険度を表示



川内川水防災河川学習プログラムの活用について

- 川内川では、自ら判断して避難することができる人材育成を目的とした水防災河川学習を小学校において推進中。
- 平成24年度からさつま町において「水防災河川学習プログラム」の開発を進め、平成26年度から町内の全小学校（9校）で本プログラムを用いた教育課程に基づく授業を開始。
- 平成28年度から薩摩川内市においても、8校で試行授業の取組を実施しており、平成31年度より薩摩川内市内の全小学校（27校）の授業にて活用していただくこととしている。
- 伊佐市においても、全14校の内、3校を指定校として平成31年度より活用していただくこととしている。
- 湧水町からは、全小学校（5校）で実施してはどうかと提案頂き、R1.10.2校長研修会にて説明を実施。



川内川

水防災河川学習プログラム

学習教材（単式・複式学級）

小学校の教育課程に対応した体系的な水防災学習教材集



小学校5年生社会科「自然災害を防ぐ」の授業の様子（さつま町立盈進小学校 H29. 2）



小学校5年生理科「流れる水のはたらき」の授業の様子
（さつま町立盈進小学校 H25. 10）



小学校5年生理科「台風と天気の変化」の授業の様子
（薩摩川内市立東郷小学校 H28. 10）

川内川水防災河川学習プログラムの活用について

川内川水防災河川学習プログラムの普及活動



薩摩川内市 校長研修会 (H31.4.12)

- 新学習指導要領(H29.3公示)に基づき、令和2年度より小学校にて全面実施され、教科書の内容が変更となる。
- そのため、「川内川水防災学習プログラムにおいても、新しい教科書の内容に合わせて、現在、**プログラムの改訂作業中**。
- 今後、各市町の教育委員会等による**改訂検討会**を開催し、作成予定。



伊佐市 菱刈小学校 (H31.3.13)



湧水町 校長研修会 (R1.10.2)



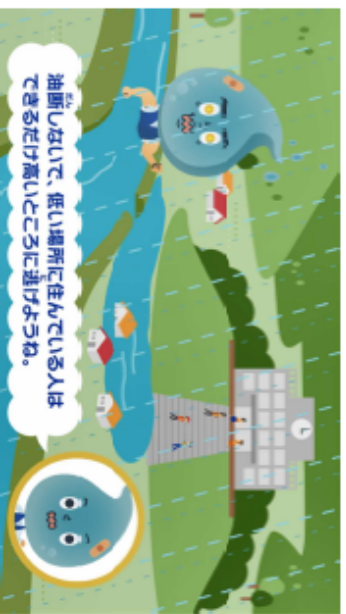
令和2年5月22日
水管理・国土保全局
河川環境課・防災課

小学生向け動画「小学5年生理科 流れる水の働きと土地の変化」を公開しました

この動画は、洪水が起こりそうなときに、ただ避難するだけではなく、川の特徴をとらえたうえで、予測、判断、行動につなげることをねらいとした動画です。新学習指導要領の5年理科の内容に即しながら、4年・6年の内容とも関連しています。(約8分)
本格的な梅雨期、台風期を迎える前のこの時期にご自宅で、学校で、是非ともご視聴ください。

- 以下よりご視聴可能です。

<https://youtu.be/tyD191M8fZk>



- 防災教育ポータル上では上記動画のほか、さまざまな防災教育の素材を紹介しています。こちら是非ご覧ください。

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html>

- ・ 防災教育に取り組む先生方に役立つ最新の取組を【トピックス】として紹介しています。
- ・ 様々な機関が作成している防災教育に役立つ資料などを、【教材】【素材】【手引き】【事例】に分類し、掲載しています。

防災教育ポータル

検索



トピックス
最新の取組
教材
すぐに使える
教材パッケージ



手引き
これから防災教育を
始める際の進め方



事例
学年別・分野別の
防災教育の事例



素材
伝わりやすい
写真やイラスト等



リンク

【問い合わせ先】

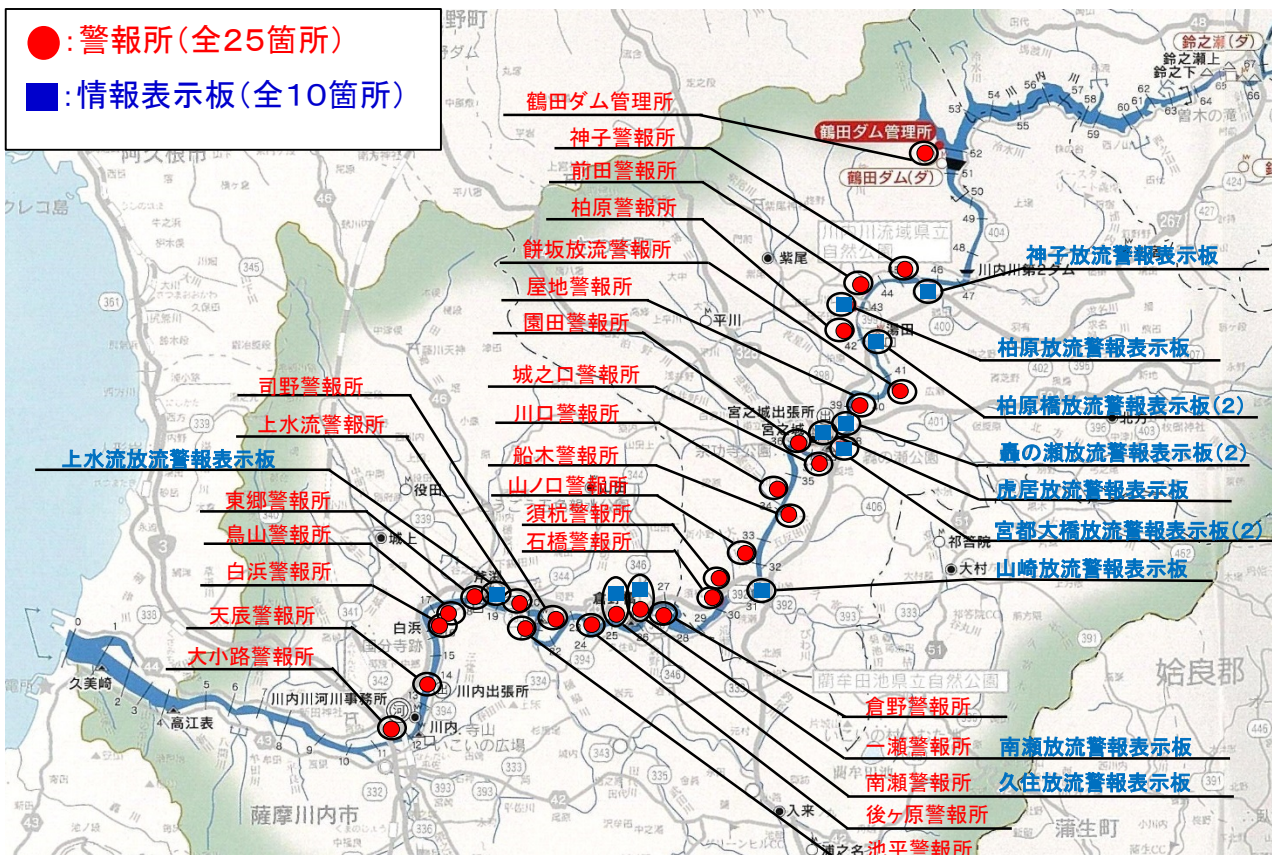
国土交通省 水管理・国土保全局

防災課 課長補佐 山崎 航 (35722)、係長 五十嵐 義敏 (35836)

電話：03-5253-8111 (代)、03-5253-8438 (直通) FAX：03-5253-1607

鶴田ダム管理所

鶴田ダム放流時の住民への周知 (1/2)



情報表示板による案内



放流警報局による放送、サイレン



警報車による巡視、放送

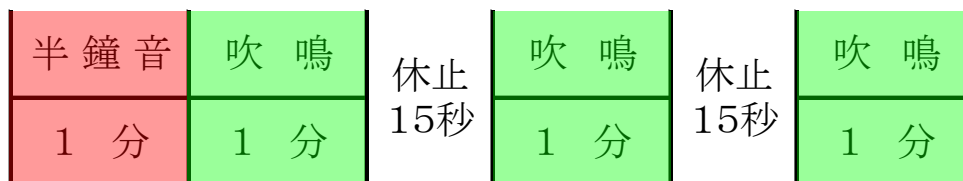
上記手順を順次行いながらダムからの放流を実施

- 鶴田ダムから放流を行う場合は、サイレンを吹鳴します。
- サイレンは、ダムから放流開始する約1時間前と異常洪水時防災操作を行う約1時間前に吹鳴します。
- 特に異常洪水時防災操作を行う場合は、通常時のサイレンに加え、最初に半鐘音が鳴ります。

【ダムから放流する時のサイレン】



【異常洪水時防災操作時にダムから放流する時のサイレン】



報道機関への情報提供（放流通知文）

放流通知文の名称	通知（又は情報提供）を行う時期
鶴田ダム洪水警戒体制の通知	大雨洪水注意報又は大雨洪水警報発令時
鶴田ダム放流開始の通知	ダムからゲート放流を開始する時
鶴田ダム放流量増加による急激な河川水位上昇の通知	ダムからの放流量を急激に増加させる時
鶴田ダム防災操作（洪水調節）開始の情報	ダムへの流入量が600m ³ /sに達し、防災操作（洪水貯留）を開始した時
鶴田ダム防災操作（洪水調節）状況の情報	防災操作（洪水貯留）が長時間に渡っている時
【重要情報】異常洪水時防災操作 ○ 時間前	異常洪水時防災操作へ移行する可能性がある○時間前
【重要通知】異常洪水時防災操作 3 時間前	異常洪水時防災操作を開始する3時間前
【重要通知】異常洪水時防災操作 1 時間前	異常洪水時防災操作を開始する1時間前
【重要通知】異常洪水時防災操作 開始	異常洪水時防災操作を開始した時
鶴田ダム異常洪水時防災操作 終了	異常洪水時防災操作を終了した時
鶴田ダム放流停止の情報	ダムからの放流を停止した時
鶴田ダム洪水警戒体制解除の情報	洪水警戒体制を解除した時

 : R1年度より報道機関（鹿児島県内のTV局、薩摩川内市内FMラジオ局、新聞社）へ情報提供します。

さつま町役場
薩摩川内市役所
薩摩川内市役所 樋脇支所
薩摩川内市役所 東郷支所
鹿児島県 北薩地域振興局
さつま警察署
薩摩川内警察署
電源開発(株) 南九州電力所
川内川河川事務所
九州地方整備局
(一財)河川情報センター
※さつま町消防本部
※薩摩川内市消防局
※九州電力(株) 鹿児島電力センター

※「洪水警戒体制に入る場合」及び「洪水警戒体制を解除する場合」は除く

警戒レベル 4 相当

通知 7
 (受信確認が必要) 通知番号

- ・ダム下流の河川で更に水量が増加し、氾濫のおそれがあります。
- ・避難勧告等の措置が必要。

【重要通知 異常洪水時防災操作 3時間前】

令和 年 月 日 時 分
 鶴田ダム管理所

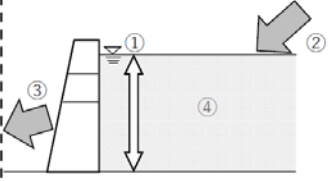
<ダム操作に関する通知>

川内川水系 川内川 鶴田ダム（鹿児島県さつま町）では、防災操作（洪水調節）を行っています。今後、計画規模を超える洪水が予想されるため、ダムに水を貯められなくなり、月 日 時 分頃から下流に流れる水量が増える※異常洪水時防災操作を実施します。そのため、洪水氾濫のおそれがあります。移行する場合は、おおむね1時間前にも事前通知をしますので、ダムからの連絡等に注意してください。
 ※今後の降雨状況により時間が前後する可能性がありますので、ご注意ください。

【ダム情報】

現在時刻： 月 日 時 分

ダムの空容量が減少したためダムに水を貯められなくなり、下流に流れる水量が増えています。



	現在	1時間前より
① ダム水位	m	m (上昇・横ばい・低下)
② 流入量	m ³ /s	m ³ /s (増加・横ばい・減少)
③ 放流量	m ³ /s	m ³ /s (増加・横ばい・減少)
④ 貯水率	%	% (上昇・横ばい・低下)

※ダム情報のホームページ インターネット:<http://www.river.go.jp> 携帯サイト:<http://i.river.go.jp>

<受信確認> 鶴田ダム管理所 TEL: 0996-59-2030 FAX: 0996-59-2122

発信機関	発信者	発信時刻	受信機関	受信者	受信時刻
鶴田ダム管理所					

※ 異常洪水時防災操作とは、大きな出水によりダムの洪水調節容量を使い切る可能性が生じた場合、ダム流下量（放流量）を徐々に増加させ、流入量と同程度の流量を放流する操作のことで、

報道機関の皆様へ

防災操作を行いつつ、異常洪水時防災操作への移行に向けた準備作業を行うため、お問い合わせは九州地方整備局 河川部 河川室 ダム班へお願いします。〈TEL: 092-471-6331 (代表) 内線3867~3869〉

警戒レベル 4 相当

通知 9
 (受信確認が必要) 通知番号

- ・ダム下流の河川で更に水量が増加し、氾濫のおそれがあります。
- ・避難指示（緊急）等の措置が必要。

【重要通知 異常洪水時防災操作 開始】

令和 年 月 日 時 分
 鶴田ダム管理所

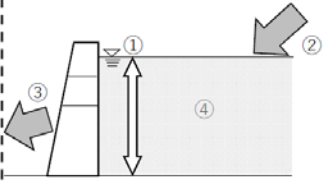
<ダム操作に関する通知>

川内川水系 川内川 鶴田ダム（鹿児島県さつま町）では、計画規模を超える洪水のため、月 日 時 分に※異常洪水時防災操作を開始しました。

【ダム情報】

現在時刻： 月 日 時 分

ダムの空容量が減少したためダムに水を貯められなくなり、下流に流れる水量が増えています。



	現在	1時間前より
① ダム水位	m	m (上昇・横ばい・低下)
② 流入量	m ³ /s	m ³ /s (増加・横ばい・減少)
③ 放流量	m ³ /s	m ³ /s (増加・横ばい・減少)
④ 貯水率	%	% (上昇・横ばい・低下)

※ダム情報のホームページ インターネット:<http://www.river.go.jp> 携帯サイト:<http://i.river.go.jp>

<受信確認> 鶴田ダム管理所 TEL: 0996-59-2030 FAX: 0996-59-2122

発信機関	発信者	発信時刻	受信機関	受信者	受信時刻
鶴田ダム管理所					

※ 異常洪水時防災操作とは、大きな出水によりダムの洪水調節容量を使い切る可能性が生じた場合、ダム流下量（放流量）を徐々に増加させ、流入量と同程度の流量を放流する操作のことで、

報道機関の皆様へ

異常洪水時防災操作中であり操作に専念するため、お問い合わせは九州地方整備局 河川部 河川室 ダム班へお願いします。〈TEL: 092-471-6331 (代表) 内線3867~3869〉

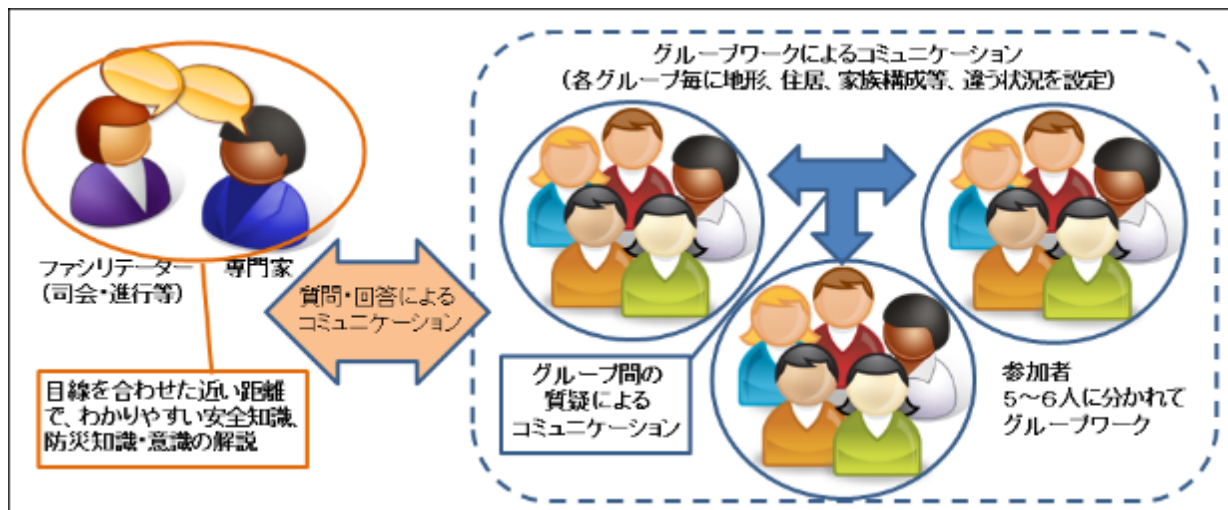
鹿児島地方気象台

防災知識・意識向上のための普及啓発 ～子どもが自ら命を守る～

洪水等による災害の知識や身を守るための方法及び気象庁が発表する警報・注意報等についてレクチャーを行った後、参加者がグループワークで「経験したことがない大雨」に対する準備や避難行動等について話し合い、その結果を発表して共有し、「大雨から命を守るために自らの判断で行動をとることができる」等の防災力向上を目的として実施。



レクチャー



グループワーク



発表



発表後の解説

湧水町立栗野小学校 (R1.10.18) 34名、薩摩川内市立東郷学園義務教育学校 (R1.10.30) 50名


宮崎地方気象台

○HP等にて発信している防災情報の充実


【取組概要】

- 防災気象情報の改善として、「警報級の可能性」、「大雨警報（浸水害）の危険度分布」等をスマートフォン版ホームページを利用推進中です。
- 「大雨警報（浸水害）の危険度分布」は、ホームページ（PC版）で提供開始しており、GPS機能を利用しスマートフォンからも使い易くしました。
- 火山（霧島山関連）情報も確認しやすい画面としました。

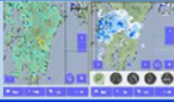
[トップメニュー]

 宮崎地方気象台 Miyazaki Meteorological Office	
天気予報	
アメダス	
レーダー	
大雨警報(浸水害)危険度分布	洪水警報危険度分布
大雨警報(土砂災害)危険度分布	雨の予想(ノウキャスト)
警報・注意報	
早期注意情報（警報級の可能性）	
火山（霧島山関連）	
リンク	
・気象庁台風情報 ・地震情報 ・火山登山者向けの情報提供ページ(全国)	
宮崎地方気象台 【Access】〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島5丁目1-4 【Tel】0985-25-4033	
PC モバイル	
このホームページについて	


●天気予報や実況データをご覧いただけます



●各種の危険度分布や詳細な雨の予測です



●現在の警報・注意報の発表状況と今後の警報発表の見通しです



●火山(霧島山関連)の情報です

●その他、台風や地震などの情報へのリンクです

気象状況の把握に有用な各種コンテンツを集めて掲載しております。野外活動などぜひ、ご活用ください。

気象台のホームページの中から、天気予報・アメダスや、災害時にご覧いただくことの多い気象情報や大雨・洪水の危険度分布、霧島山の火山情報などをコンパクトにまとめました。



QRコード
ご利用ください。

鹿児島県

- 鹿児島県では、令和元年度までに、すべての洪水予報河川及び水位周知河川(12水系19河川)について、洪水浸水想定区域を指定している。
- また、県管理河川の過去の浸水実績等について、県HPで公表している。

●鹿児島県内の洪水浸水想定区域指定状況

水系	河川名 (ふりがな)	流域市町村	告示日
			想定最大規模降雨
天降川	天降川 (あもりがわ)	霧島市	R1.10.15
	手籠川 (てごがわ)		
	郡田川 (こおりだがわ)		
万之瀬川	万之瀬川 (まのせがわ)	南さつま市・南九州市	H29.3.17
	加世田川 (かせだがわ)	南さつま市	
米之津川	米之津川 (こめのつがわ)	出水市	R1.10.15
甲突川	甲突川 (こうつきがわ)	鹿児島市	H30.2.13
川内川	平佐川 (ひらさがわ)	薩摩川内市	R1.10.15
雄川	雄川 (おがわ)	南大隅町	H30.2.13
神之川	神之川 (かみのかわ)	日置市・鹿児島市	H29.3.17
	長松川 (ちょうまつがわ)		
	下谷口川 (しもたにぐちがわ)		
花渡川	花渡川 (けどがわ)	枕崎市	H29.3.17
	中洲川 (なかすがわ)		
新川	新川 (しんかわ)	鹿児島市	H30.2.13
稲荷川	稲荷川 (いなりがわ)	鹿児島市	H30.2.13
永田川	永田川 (ながたがわ)	鹿児島市	R1.10.1
本城川	本城川 (ほんじょうがわ)	垂水市	R1.10.29
	井川 (いがわ)		

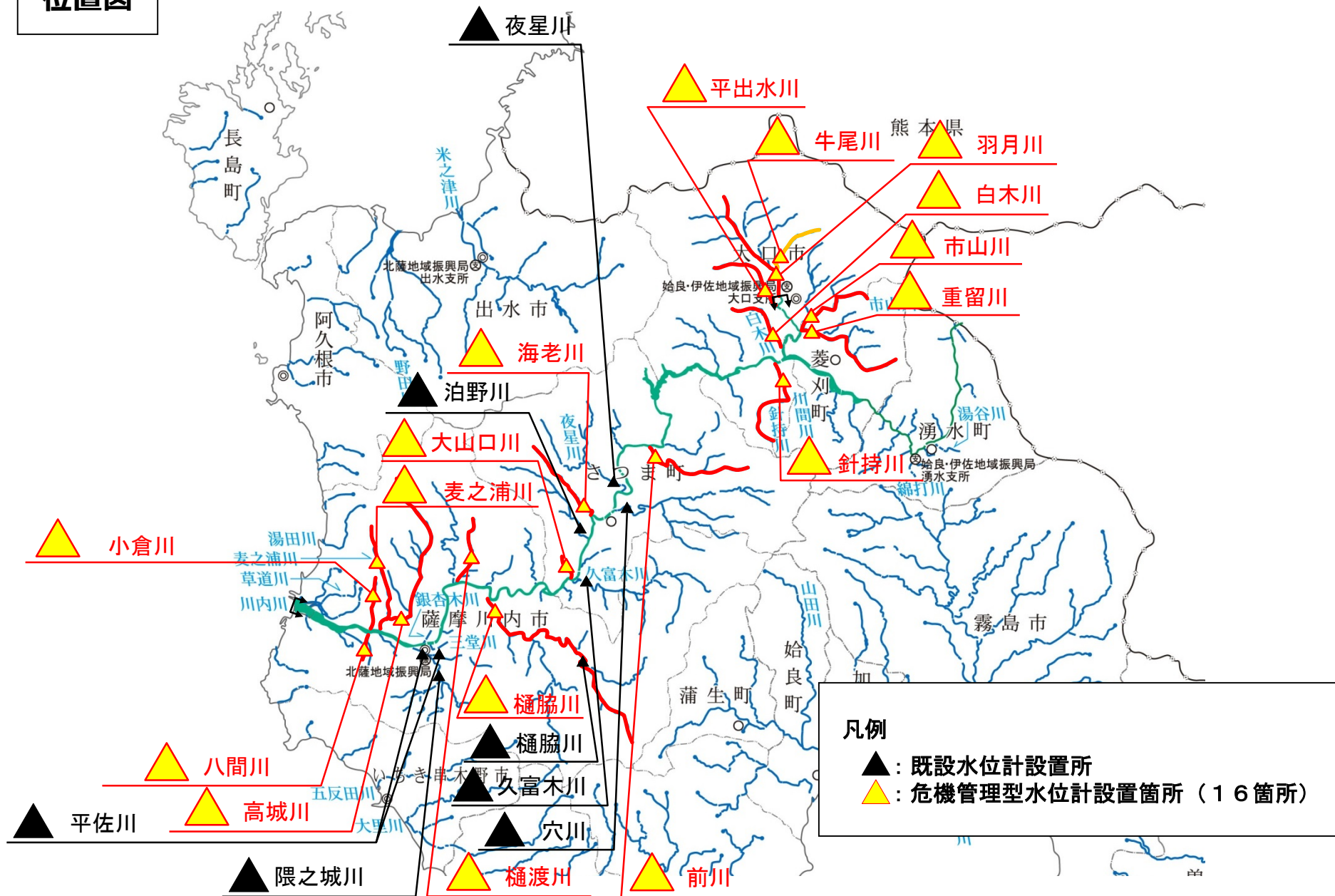
- 県管理河川の浸水実績については、S40年からR1年まで市町村ごとに、合計204河川分を掲載している。(令和2年4月現在)

[ホーム](#) > [社会基盤](#) > [河川・砂防](#) > [水防](#)
 > [過去の浸水記録～浸水実績～](#)

(鹿児島県HP 過去の浸水実績)

浸水実績等の周知	
河川名	市山川
被災年月日	平成18年7月(豪雨)
被災箇所	(右岸)伊佐市大口丸地内(左岸)伊佐市愛対花北地内
浸水原因	溢水
注意事項 ・被災箇所の市町村名は、当時の市町村名となっています。 ・浸水原因、範囲等は、被災時の現地調査、聴き取り等によるものです。	

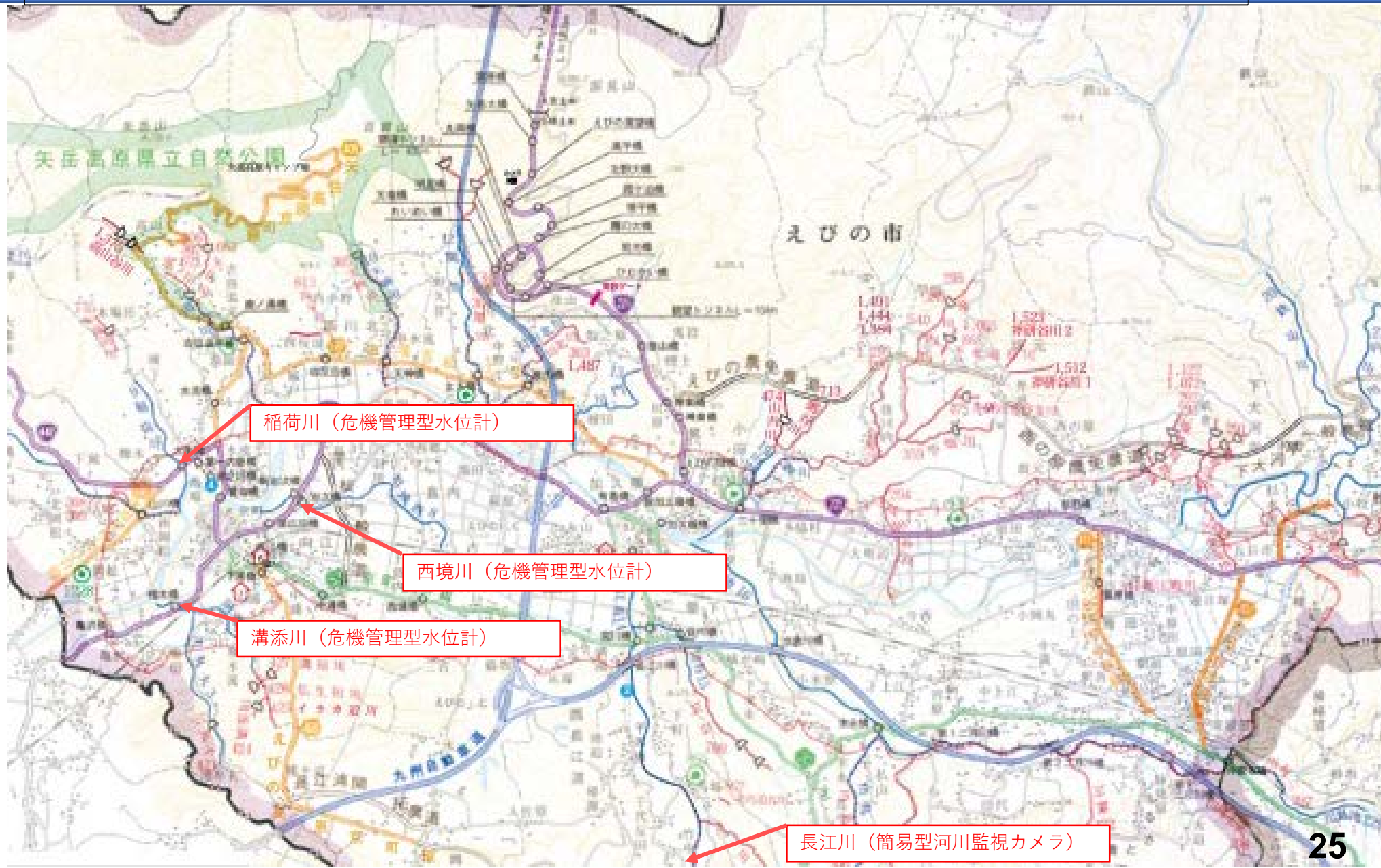
位置図



凡例

- ▲: 既設水位計設置所
- ▲: 危機管理型水位計設置箇所 (16箇所)

宮崎県



1 住民自らの避難行動や企業の防災対応を促すための取組取組

「不動産関係団体の研修会等における水害リスクに関する情報の解説」

宮崎県

- 宮崎県では、不動産関係団体が実施する研修会において、県河川課職員が講師となり、「水害リスクに関する情報の解説」に係る講習会を実施した。(令和元年8～9月に計4回開催。参加企業は613社)。
- 講習会では、近年の豪雨災害の発生状況や、想定最大規模の降雨に係る洪水浸水想定区域図の入手方法、区域図に表示された水害リスクの見方等を詳しく解説し、宅地や建物の売買の際には、相手方へ水害リスク情報を周知いただくよう、協力を依頼した。
- 今後とも、不動産関係団体と連携しながら、住民に対する地域の水害リスクの周知に取り組んでいく。



法定研修会 県南支部 (R1.9.10) 参加企業154社



県北支部 (R1.9.11) 参加企業127社



県央支部 (R1.9.12) 参加企業255社

(一) 宮崎県宅地建物取引業協会会友会(公社) 全国宅地建物取引業保証協会会友会(公団)

令和元年度第1回県央支部法定研修会次第

開催日 令和元年9月12日(木) 13時00分
開催場所 宮崎市民プラザ オンプライムホール

1. 開会のことば	組織 企画部	上杉 素実
2. 倫理綱領の唱和	理事	内山 哲郎
3. 支部長挨拶	組合員(代表)	井澤 正行
4. 会長挨拶	会長	木田 文男
5. 研修課題目		

- 水害リスクに関する情報の解説について (13:15～13:30)
説明 宮崎県土木整備部 河川課 久保田 英範 氏
- 揮子計画(まちづくり)について (13:30～14:00)
講師 宮崎市都市整備部 都市計画課 片平 誠一郎 氏
- 売買と賃貸に関する民法改正 (14:00～16:30)
講師 派風法律事務所 弁護士 兼谷 剛一 氏
※途中、休憩が10分程度入ります。
- 閉会のことば
 組織 企画部 | 上杉 素実 |

※司会及び講師の紹介 理事 上水滝 剛

水害リスクに関する情報の解説について

令和元年9月 宮崎県土木整備部河川課

目次

- 近年の豪雨災害について
- 想定最大規模の降雨に係る洪水浸水想定区域図の指定・公表
- 洪水浸水想定区域図と水害ハザードマップ
- ハザードマップと実地調査の実施
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 災害リスク情報における重要事項説明
- 国土交通省ハザードマップポータルサイト

公益社団法人不動産保証協会宮崎県本部 (共催：全日本不動産協会宮崎県本部)

法定講習会 (R1.8.6) 参加企業 77社

水害リスクに関する情報の解説 説明資料 (抜粋)

(2) - 1 想定最大規模の降雨に係る洪水浸水想定区域図の指定・公表

- 宮崎県が洪水予報河川及び水位届知河川に指定した全35河川について、**想定し得る最大規模の降雨を**対象とした**洪水浸水想定区域**を本年7月までに指定・公表。(県のホームページで公表)
- 区域を含む市町村では、公表した洪水浸水想定区域をもとにした洪水ハザードマップを作成予定。**

2. 河川が管理する河川における洪水浸水想定区域図

河川名	河川種別	指定河川	指定河川	指定河川	洪水浸水想定区域
宮崎川	河川	宮崎川	宮崎川	宮崎川	宮崎川
...

3. 指定・公表した35河川

河川名	指定河川	指定河川	指定河川
宮崎川	宮崎川	宮崎川	宮崎川
...

4. 銀行ホームページでの公表
URL: https://www.grc-nagasaki.jp/issue/shokai_bun/issue/flow_20190814.html

5. 公表する洪水浸水想定区域図 (5種類)

- 想定最大規模降雨により想定される洪水浸水想定区域及び水害
- 想定最大規模降雨により想定される浸水継続時間
- 想定最大規模降雨により想定される家屋倒壊等氾濫想定区域 (洪水氾濫によるもの)
- 想定最大規模降雨により想定される家屋倒壊等氾濫想定区域 (河津浸水によるもの)
- 計画規模降雨により想定される洪水浸水想定区域及び水害

洪水浸水想定区域図の入手方法を解説

(2) - 2 想定最大規模の降雨に係る洪水浸水想定区域図の指定・公表 (宮崎市加江田川事例)

1. 想定最大規模降雨により想定される洪水浸水想定区域及び水害

2. 想定最大規模降雨により想定される浸水継続時間

3. 想定最大規模降雨により想定される家屋倒壊等氾濫想定区域 (洪水氾濫)

4. 想定最大規模降雨により想定される家屋倒壊等氾濫想定区域 (河津浸水)

浸水想定区域図に表示された水害リスクを解説

2 的確な防災活動のための取組

①水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項 (訓練・演習の実施)

小林土木事務所

■宮崎県では、毎年出水期前に土木事務所単位で防災対策会議及び防災訓練を実施している。

☆目的

- ・管内市町村、関係団体等の連携を密にし、連絡体制の確認・強化や管内危険箇所・重要施設箇所などの情報共有を図る。
- ・災害発生時の対応を実際に行うことにより、課題を抽出するとともに対応の習得を図る。

情報伝達



大規模災害協定 1



大規模災害協定 2



■ H 3 1 年度 防災訓練の実施状況

1 訓練日時 平成31年5月20日 13:00～16:00

2 参加者 小林土木事務所22名、建設業協会9名、測量業協会8名、舗装業協会1名、法面保護協会1名 合計41名

3 総括

- ・台風直撃等による土砂災害を想定し、タイムラインに基づき県と各市町においてホットラインを実施。
- ・道路法面の崩壊を想定し、仮設土のう積み作業や被災法面のドローンを活用した調査を実施。
- ・大規模災害を想定し、大規模災害協定書に基づいて災害箇所の調査を実施。

薩摩川内市

【目的】

水防技術の向上や国、県、市、防災関係機関及び民間協力団体等の連携・協力体制の確立や防災体制の向上を図るとともに地域の皆さんの防災意識を高めていただくことを目的に、出水期を前に実施する水防演習を国と県と連携して、薩摩川内市で実施。

日時;平成30年度5月20日(日) 8時30分～12時30分

場所:鹿児島県薩摩川内市西開聞町向田地先

大規模災害発生の恐れがあるため 事前防災行動を開始

タイムライン発動



岩切 秀雄
薩摩川内市長



●薩摩川内市広報車



●本部長指令第1号 [土のうづくり]



薩摩川内市消防団①



薩摩川内市消防団②



まつま消防団

●避難訓練②



亀山小学校、川内中央中学校、薩摩川内警察署、薩摩川内市消防団



●飲み出し訓練
薩摩川内市赤十字奉仕団、薩上自衛隊第12普通科連隊、鹿児島純心女子大学



●避難所・ボランティアセンター開設・運営訓練
薩摩川内市社会福祉協議会、鹿児島純心女子大学



出水市

※ 平成31年度(令和元年度)については、6月2日(日)に総合防災訓練を予定していたが、不発弾が発見されたことにより、安全化処理に向けた業務との平衡実施が不可能であると判断し、中止することとなった。

さつま町

○町内一斉防災訓練・点検の実施

【取り組みの内容】

自主防災組織・公民会単位での防災訓練につきましては、平成19年度から毎年実施していただいております。本年度は5月31日(日)を「町内一斉防災訓練の日」として下記のとおり行いましたが、新型コロナウイルス感染予防のため、規模を縮小しての実施となりました。

取り組み内容は、各団体にお任せしてありますが、事前に「自主防災組織等の訓練内容(例)」を配布し、各公民会・自主防災組織等での情報伝達訓練を中心に実施していただきました。(※写真については、令和元年度分)

防災訓練終了後、町消防団、警察署等の協力をいただき、町内一斉防災点検(危険箇所点検)も実施しております。

【当日のスケジュール】

○午前7時30分～ 町長のメッセージ

同時に災害対策本部招集訓練、避難所開設訓練(伝達のみ)を開始

○午前8時～ 「サイレン吹鳴」及び「防災訓練に伴う避難勧告」の広報。鶴田ダム放流警報設備へ、町内全域に避難勧告(訓練)が発令された旨の表示を依頼。

(以下、自主防災組織等の訓練例)

- ①情報収集・伝達訓練 ②消火訓練 ③救出・救護訓練
- ④避難訓練 ⑤避難行動要支援者避難行動支援

○午前10時 防災訓練の終了

※訓練終了後、防災点検を実施。(町内500箇所を消防団(22分団)で点検)



避難行動状況
(麓公民会)



公民館での避難人員確認状況
(湯田下公民会)



公民館での避難人員確認状況
(折小野公民会)



防災備品の確認状況
(船木下公民会)

伊佐市

○伊佐市総合防災訓練の実施

【取り組みの内容】

伊佐市においては、9月1日(日)に総合防災訓練を行いました。

訓練内容については、事前に各校区コミュニティの会長さんに説明を行ない、各校区の地域に応じた訓練を実施していただきました。

【当日のスケジュール】

○午前7時45分～ 「避難準備高齢者等避難開始」発令
市職員から自治会長へ連絡
登録制メールの配信

○午前8時～ 「避難勧告」発令及び「サイレン吹鳴」
市職員から自治会長へ連絡
登録制メール及び緊急速報メール配信

(以下、自主防災組織等の訓練例)

- ①情報伝達訓練 ②避難訓練 ③初期消火訓練
- ④危険箇所・消火水利等の確認 ⑤給食・給水訓練
- ⑥救急救命講習訓練

○午後0時 防災訓練の終了



避難経路・危険個所の確認状況



緊急救命講習訓練の状況

えびの市

○防災ハザードマップの作成・配布

・令和元年度に、宮崎県が指定した土砂災害警戒区域・特別警戒区域や、新たに公表された洪水浸水想定区域図を基に、『えびの市防災ハザードマップ』の作成を行い、市内全世帯へ配布を行った。

【国】

・川内川水系川内川及び長江川の洪水浸水想定区域図(想定最大規模の降雨)〔平成28年6月公表〕

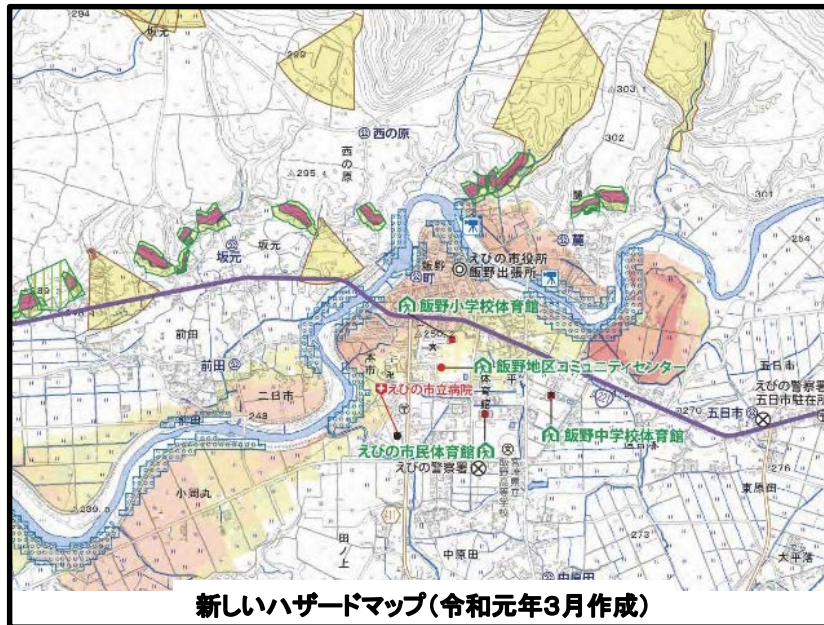
【県】

・川内川水系長江川の洪水浸水想定区域図(想定最大規模の降雨)〔令和元年度公表〕

・土砂災害警戒区域等の指定

【えびの市】

・令和元年度、現行の防災マップを見直し、新たに防災ハザードマップを作成・配布



ハザードマップの概要

- 1) 対象範囲:えびの市全域(総数で10,000部作成)
市内を4つの校区に区割りして作成
- 2) 地図面の記載内容
想定最大規模の洪水浸水想定区域
土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域
指定避難所、指定避難場所等
書き込み可能な地図面で、防災学習に活用
- 3) 情報面の記載内容
防災情報の入手先、避難の心得、
非常時持ち出しチェック表等